



葛の葉だより

平成31年4月26日（金）

着任式 6名の教職員が転入しました



【後列】

◎浅尾剛弘 ◎塩竜也 細矢充孝 ◎山崎裕斗 ◎町田さゆり
 (音楽) (社会・美術) (理科) (保体) (事務)

【前列】

磯上優美 ◎岩本和典 川上一美 小泉和久 ◎佐藤友昭
 (英語) (技家) (校長) (国語) (数学)

【スタッフ】

(スクールカウンセラー) 塩田英美 (学校司書) 坂本真梨
 (用務員) 佐川敏行 高木孝子

14名の教職員です。よろしくお願いたします。

1学期始業式 平成31年度（令和元年度）始まる

4/8～7/19まで69日間です。普段やるべきことを着実に「在平素」を基本として、今年の生徒スローガン「自主前進」を柱に目標と目的を持って、学力・体力・心力をバランスよくつけていくことをめざします。2～3年生代表と生徒会代表生徒からの1学期の抱負発表がありました。



第74回入学式 9名が入学

真新しい制服を身につけ、初々しい緊張感に包まれた9名の1年生が入学式を迎えました。平成31年度（5月1日からの令和元年度）は全校生34名で入遠野中学校での学習活動を進めていきます。



入学記念写真（平成31年4月8日）

1年 担任 塩 竜也
 副担任 小泉和久
 男子 4名 女子 5名 計9名

1・2年生 学習旅行～白河市～

4月24日（火）晴天に恵まれ、1・2年生20名は、白河市へ学習旅行に出かけました。震災で壊れた石垣修理がちょうど終えた小峰城ではボランティアガイドからの説明を受け、乙女桜の悲しい物語が伝わり、柱に戊辰戦争時の弾丸跡が残る天守閣にも登りました。

その後県文化財センター白河館「まほろん」で、勾玉づくり、火おこし体験、館内にある豊富な文化財の見学などを通して歴史と生活文化を楽しく学ぶことができました。



小峰城天守閣へ



勾玉づくり

3年生修学旅行～東京都・千葉県～

4/22(月)～ 24(水) 天候にも恵まれ、昨年からの準備を進めてきた修学旅行が実施されました。スローガンは Let's make special memories ～みんなで楽しみ、みんなで学ぶ 笑顔あふれる修学旅行～です。結団式で示した、①友達とよい関係を深めよう、②自分のことは自分でやろう、③トラブルがあっても解決を試みよう、④色々な職業を見てこよう、の4つの達成に向けて努力していました。

1日目



日本銀行本店



全日空機体整備工場

2日目



国立科学博物館



いざ班別研修へ出発!

3日目



そなエリア東京で防災学習



東京大学安田講堂

校長室の宝物

【今年度 はじめに】

校長室にある貴重な記録を参考にしながら、学校へお越しいただいたOBの方からの聞き取りや好んで出かけるフィールドワークなどを含め、平成30年5月号から記事にしてきました。物事の良さに気づくためには、手に取ることが一番です。今年も皆様からのお話や情報をいただきながら、自助努力を怠らず、入遠野と入遠野中のよさを発見していきたいと思っています。もちろん、在籍している34名の生徒諸君にこそ入遠野のよさを最も実感して欲しいことは言うまでもありません。豊かな心は、郷土の風土、歴史そして人々によって育まれるものであります。探究や交流の楽しさを共学していきます。

【遠野と馬】

さて入遠野を歩いてみると、「馬頭観音」「東堂山」の石碑が多くあることに気がつく。それは、遠野の地が昔から馬産地として馬市場がたち、セリ市では大いに賑わった。馬は従順かつ力のある働き者で堆肥を作り、子を産む。家族の一員として大切に飼われてきた。天明八年(1788)の巡検使調に、根岸村人口495人馬50疋、上滝村人口431人馬35疋、下滝村人口412人馬28疋と記録された。大正元年編纂の入遠野郷土史では「馬、家毎に一頭ないし二頭を飼い総数357頭あり」と記されている。校歌に「秣ゆたかに馬は肥ゆ」とあることから昭和30年代前半の馬産のピークに至るまで、当地における馬と人々の暮らしの関わりの深さがよくわかる。

田村郡小野町の東堂山萬福寺には牝の御神馬像が祭られ、根岸大藪の瑞念寺(焼失廃寺)境内の馬頭観音と堂内にあった若駒の御神馬像の両方を参詣し本願成就すると、当地では言い伝えられてきた。